

すなおしり さ 砂押里佐さんを委嘱

小野町地域おこし協力隊委嘱状交付式

小野町地域おこし協力隊委嘱状交付式が5月1日、町長室で行われ、砂押里佐さんに委嘱状が交付されました。

地域おこし協力隊とは、都市部に住む地域外の人材を町に受け入れて地域の活性化のために活動してもらう制度で、砂押さんは栃木県宇都宮市から町に移住して小野町観光協会事務局の運営管理や各種イベントの運営などに取り組みます。

交付式では、町長から砂押さんに委嘱状が手渡され、町長からの歓迎の言葉が述べられました。砂押さんからは「里山の魅力あふれる小野町で地域おこしに取り組みたいと思って移住を決めたので、これから町の観光振興のために力を尽くしたい」とのあいさつがありました。

砂押さんの今後のご活躍を紙上よりお祈りします。



委嘱状の交付を受けた砂押里佐さん



研修会の様子

地域の高齢者のため 医療と介護の連携を強化

田村地方医療介護連携協議会

地域の高齢者支援のため「田村地方医療介護連携協議会」の研修会が5月1日、多目的研修集会施設で開かれました。

研修会には、田村医師会所属の医師、田村薬剤師会所属の薬剤師のほか、訪問看護事業所など所属の看護師、居宅介護・施設事業所のケアマネージャー・介護員、田村市・三春町・小野町の地域包括支援センター職員、行政関係職員など52人が出席しました。

冒頭、連携協議会会長の石塚尋朗さん(田村医師会会長・石塚医院院長)から「医療と介護の連携の重要性」「要支援認定者を重度化させない医療介護支援の必要性」「事例研究を通しての情報共有と人材育成が今後ますます求められる」とあいさつがありました。

研修会では、支援を必要とする高齢者の事例をグループ討議し、発表後、出席した医師から講評をいただきました。

連携協議会では、今後も高齢者ができるだけ長く住み慣れた地域で生活していけるよう研究を重ねていきます。